

参考資料 3

総合科学技術・イノベーション会議

第11回 基本計画専門調査会

H27.9.24

第2期～第4期科学技術基本計画の 基本構造について

第2期基本計画の基本構造

- 「目指すべき国の姿」を提示し、その国の姿の実現への寄与が大きいとされる4分野（ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料）への資源配分の重点化を実施。
- 基本計画においては、この4分野に関して、それぞれ重点を置くべき技術的課題や推進方策を記述（各分野1頁程度）。加えて、エネルギー、製造技術、社会基盤、フロンティアの4分野については「国の存立にとって基盤的」とした上で、重要な技術課題や推進方策を記述（各分野数行程度）。
- 別途、「分野別推進戦略」を策定し、8分野毎の詳細な目標、重点取組等を記載し、P D C Aを遂行。

【目指すべき国の姿（3つの理念）】

知の創造と活用により
世界に貢献できる国

国際競争力があり
持続的発展ができる国

安全・安心で質の高い
生活のできる国

国の姿を基に重点4分野を抽出

【重点4分野】

ライフサイエンス

情報通信

環境

ナノテクノロジー・材料

エネルギー

製造技術

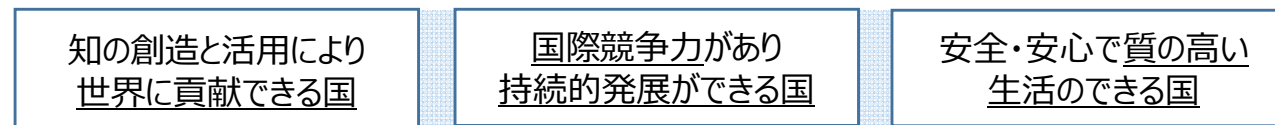
社会基盤

フロンティア

第3期基本計画の基本構造

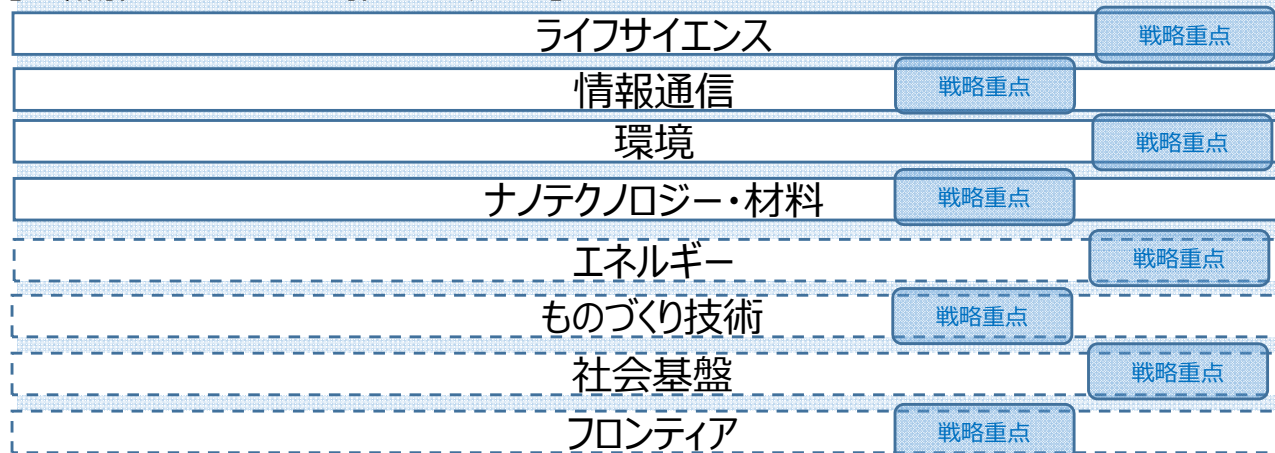
- 4分野に対する資源配分の重点化に加えて、各分野内での投資の重点化を実施。
- 重点化については、以下の3要件から、「戦略重点科学技術」を抽出。
 - ・5年間の集中投資で社会・国民のニーズに解決策を提示できるもの
 - ・5年間集中投資しなければ国際競争を勝ち抜くことができないもの（不作為の場合ギャップを取り戻せないもの）
 - ・国主導の大規模プロジェクト（＝国家基幹技術）
- 基本計画では、4 + 4分野を指定し、分野内での重点化の考え方、戦略重点科学技術指定の考え方を記述。
- 別途、「分野別推進戦略」を策定し、分野毎の詳細な目標、重点取組等を記載し、P D C Aを遂行。

【目指すべき国の姿（3つの理念）】



国の姿を基に重点推進4分野を抽出
社会・国民ニーズ等を意識して各分野内で重点化

【重点推進4分野＋推進4分野】



第4期基本計画の基本構造

- 分野別の取組の提示を取り止め、「目指すべき国の姿」から、その姿の実現に向けた課題を直接的に抽出。
 - ※ その際、「震災から復興、再生を遂げ、将来にわたる持続的な成長と社会の発展を実現する国」が「最も重要」と位置付けられている。
- 各取組（達成すべき課題）について、必要となる研究開発、システム改革取組を基本計画に明記。
 - ※ 「最も重要」とされた「復興・再生」「グリーンイノベーション」「ライフイノベーション」については詳細な取組記述がある一方、他の課題については取組の記述内容が少ない。
- 平成25年度（2013年度）以降、総合戦略において、毎年度、科学技術イノベーションが取り組むべき政策課題を特定し、課題毎の詳細な目標、取組、工程表等を明示し、P D C Aを遂行。

【目指すべき国の姿（5つの姿）】

震災から復興、再生を遂げ、
将来にわたる持続的な成長と社会
の発展を実現する国（最も重要）

安全かつ豊かで
質の高い国民生活
を実現する国

大規模自然災害など
地球規模の問題解決
に先導的に取り組む国

国家存立の基盤
となる科学技術
を保持する国

「知」の資産を創出し
続け、科学技術を
文化として育む国

【具体的課題】

○震災からの復興・再生の実現
○グリーンイノベーションの推進
○ライフイノベーションの推進

生活の安全性・利便性
確保／食料・水・資源・
IT／デジタルの確保／産業
競争力強化 等

大規模地球課題への
対応促進

国家安全保障・基幹
技術の強化／新フロンティア開拓 等

科学技術の共通基盤
の充実強化